

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	GI	学部・学科	国際教養
学 年	3 年	派遣国	カナダ
派遣大学	モントリオール大学		
期 間	2024 年 9 月 3 日～ 2025 年 4 月 30 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○(暖房のみ)	冷蔵庫	○
滞在費	約 (48000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (5) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	60,000 円	基本自炊だが、外食代も含む
学用品購入費	10,000 円	教科書代
交通費	6,000 円	OPUS という定期券代
交際費	15,000 円	月による
その他	10,000 円	洋服代、フランス語授業 (大学)

合計

110,000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

基本的に市内は安全である。地下鉄やバスは主な交通手段だが、比較的時間帯通りに来て、夜中のバス以外はとても安全である。しかし、マリファナの使用が合法のため、またホームレスの多くがメインの大きな地下鉄の駅にいるため少し気をつけておいたほうがいい。特に何か問題があるわけではないが、夜に一人でいるのは避けておいたほうが良いです。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他（ ）		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(114,380) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	Assurance medicale		
加入期間	(4) ヶ月間	保険料	(47,365) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（ モントリオール ） 私の留学先であるモントリオールは、カナダ東部のケベック州に位置する多文化都市で、公用語はフランス語です。北米では珍しくフランス語圏であるため、語学面でもユニークな環境が整っています。 都市は歴史的建造物と現代的なインフラが調和しており、文化・芸術活動も盛んです。多くの大学が集まる学術都市としても知られ、学生にとって刺激的な環境が整っています。 また、食文化も多様で、地域の特産である「プティン」や「モントリオール・ベーグル」などを通じて、カナダならではの生活を体験することができます。 自然も身近にあり、市内中心部に位置する「モン・ロワイヤル」などでは、四季を通じてアウトドア活動が楽しめます。多様な文化に触れながら、語学や国際理解を深めることができる、大変貴重な留学先です。

【学業編】

1. 大学情報

大学	モントリオール大学	所在地	モントリオール
最寄空港	モントリオールピエール・エリ トッド・トルドー国際空港	空港からの距離	バスと地下鉄で1時間
空港⇄大学	(空港からバス→地下鉄→大学) *移動手段		
学生数	66,000人	留学生数	40,000人
学部	Faculty of Environmental Design Faculty of Arts and Science Faculty of Law Faculty of Continuing Education Faculty of Medicine Faculty of Dentistry Faculty of Veterinary Medicine Faculty of Music Faculty of Pharmacy Faculty of Education Faculty of Nursing School of Optometry School of Public Health Two affiliated schools: HEC Montréal Polytechnique Montréal *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Faculty of Arts and Science Department of Asian studies *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	授業の予習と 復習	授業の予習と 復習	授業の予習と 復習	授業の予 習と復習	授業の予習と 復習	11 : 30~12:30 FRS1302-A Langue, communication culture, QUM3
午後	15:30~18:30 AES2800-A Religion et culture populaire au Japon	12 :30~15 :30 ANT3164-A La société japonaise contemporaine	12 :30~15 :30 AES3022-A Cultures du Japon contemporaine 19 :00~21 :00 日仏の言語交換	授業予習 と復習 19:00~21:00 バスケ	12 :30~15 :30 HST2624-A Histoire du Japon jusqu'en 1868	

② (1)月～(4)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	9:00~12:00 French course	9:00~12:00 French course	9:00~12:00 French course	8 :30~11 :30 AES3021-A-H25 Le cinéma japonais	授業の予習と 復習
午後	授業の予習と 復習	12:30~15:30 AES2021-A-H25 Littérature japonaise contemporaine	12 :30~15 :30 AES2014-A-H25 Le cinéma chinois	授業の予習と 復習 16 :00~19 :00 REL2255-A-H25 Les religions du Japon	15:00~24:00 アルバイト

3. 履修内容

科目	Société japonaise contemporaine		
履修期間	秋学期(9-12 月)	単位数	3
授業内容／形態	現代日本社会の重要な側面を紹介し、初めは理論及び方法論的視点から「社会とは何か」について考察する。その後、現代社会をよりよく理解するために歴史を取り上げる。次に、日本社会に関連する様々なテーマを扱う。主に、教授がスライドを使って進める一斉授業。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Cultures du Japon contemporain		
履修期間	秋学期(9-12 月)	単位数	3
授業内容／形態	日本のポピュラーメディアにおける国家的・歴史的なイデオロギーに関連する社会的政治的及び文化的な言説を探究する。神話やイデオロギーが口伝え、文書、視覚的手段を通じてどのように伝えられ、日本における国家のおよび文化的アイデンティティが何世紀にもわたって形成されてきたのか検討する。その後、現代文学、映画、マンガ、アニメ、テレビ、ビデオゲームのいくつかの作品を分析し、これらの言説が現代の日本においてどのように繰り返され、再解釈され、再創造されてきたのかを理解する。主に、教授がスライドを使って進める一斉授業。		
成績	B+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Histoire du Japon jusqu'en 1868		
履修期間	秋学期(9-12 月)	単位数	3
授業内容／形態	神話的および考古学的起源、中国の影響、平安時代の古典時代、日本の封建制、近代国家の基盤など 1868 年までの日本史について探求する。主に、教授がスライドを使って進める一斉授業。		
成績	A+		

YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

科目	Langue, communication et culture, QUM3a		
履修期間	秋学期(9-12 月)	単位数	3
授業内容／形態	フランス語を母語としない学生向けのコース。初級レベル 3。特に理解力に重点を置き、口頭および書面でのコミュニケーション能力の向上を目指す。基本的な語彙、構文、音声（発音）の概念を学びます。ペア、またはグループワーク、ディスカッション。		
成績	B-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Le cinéma chinois		
履修期間	冬学期(1-4 月)	単位数	3
授業内容／形態	この授業では、中華人民共和国、香港、台湾という三つの異なる映画産業が共存する中国映画を歴史的観点から考察し、現代における中国映画について学びを深める。歴史的かつ地政学的な複雑さを踏まえながら、現代中国映画の流れを概観することを目的としている。映画分析を通じて現代中国文化への包括的な理解を身につける。エッセイが二回、期末試験がある。主に、教授がスライドを使って進める一斉授業、授業内で映画のシーンを見ながら説明する。予習として映画やテキストを読む。		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Littérature japonaise contemporaine		
履修期間	冬学期(1-4 月)	単位数	3

授業内容／形態	この授業では、現代日本における若者文化の文化的表現に焦点を当てる。また、戦後から現代に至るまでの日本社会における若者の重要性とその役割を強調することを目的とする。その中で、日本の若者に一般的に関連づけられる概念や考え方（セックス、暴力、不安定さ、社会的および感情的な関与と無関心、サブカルチャーなど）について考察する。次に、日本の若者文化に影響を受け、そこから生まれた主要な文学作品を研究する。また、文学と映画、音楽、さらにはマンガ、アニメ、ビデオゲームといった大衆文化全般とのメディア横断的なつながり、そしてそれらの商業的および文化的な実践についても考察する。中間試験、期末試験とビデオエッセイが課題としてある。		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Le cinéma japonais		
履修期間	冬学期(1-4 月)	単位数	3
授業内容／形態	この授業では、さまざまな映画作品を通じて日本の主要な課題を探り、20世紀半ばから現代に至るまでの SF の進化に特に焦点を当てて考察する。特に 1945 年の原子爆弾の使用は、現代社会の不安を反映するジャンルである SF への関心を深め、伝統と近代性が融合する日本では、このジャンルにおいて急速に影響のあるものとなった。実写映画からアニメ映画まで幅広い作品を扱って分析する。三回のエッセイ課題がある。主に、教授がスライドを使って進める一斉授業。予習として映画の視聴やテキスト（論文）を読む。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Les religions du Japon		
履修期間	冬学期(1-4 月)	単位数	3
授業内容／形態	この授業では、日本の歴史において、古代から現代に至るまで重要な原動力となってきた宗教的な制度や思想に着目し、古代から近代に至る日本の歴史の長い流れをたどり、主要な宗教伝統とその時代ごとの変遷を学ぶ。仏教の伝来、平安時代の密教、中世の神々の体系など様々なテーマを		

	扱う。三回のエッセイ、期末テストがある。主に、教授がスライドを使って進める一斉授業。またグループでのディスカッションもある。予習として教科書やテキスト（論文）を読む。	
成績	A+	
YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

今回の留学を通して色々と成長することができた。まず、留学先の大学ではアジア研究という学部にも所属し、特に日本についての授業を履修した。その中で日本の代表的な文化としてアニメや漫画を取り扱う講義が多く、日本ではあまり学べないようなものが多かった。例えば、海外でも当たり前のように使われる「オタク」というのも一つの日本の文化であり、それについて外の視点、つまり日本以外からの視点を学ぶことができた。また、日本のアニメの中でも、ジブリ作品は講義の中で何度も登場した。ジブリ作品の多くは当時や過去の日本の社会状況や宗教に着目していることが多い。例えば、『千と千尋の神隠し』は八百万の神々を癒すお風呂屋さんが描かれており、これは日本の神道に基づいた八百万の神々が中心となっている。また、『風の谷のナウシカ』は森林破壊など環境問題を描いている。このように、今までただアニメや映画として観ていたものを、学問の視点から学ぶ事ができ改めて自国の文化を知る事ができた。さらに、留学先のモントリオールはケベック州に属し、カナダであるのにも関わらず、公用語がフランス語というとても特殊な都市であった。そのため、看板や地下鉄のアナウンス、そしてレストランのメニューやお店の名前までもがフランス語表記であり、有名な KFC はフランス語で PFK (Poulet Frit Kentucky) のように書かれている。また、言語としてはフランス語を話すが、人間性はカナダ人であることにも気づいた。他のカナダの都市に行った際、モントリオールのカナダ人と同じく、とても親切で、電車やバスの中でも比較的静かである。また、交通ルールはとても厳しく、常に歩行者を優先してくれる。あるフランス語の授業で、交通ルールを守らない人は他の国から人だとジョークのように言っていたが、実際にフランス語が公用語であるため多くのフランス人やアフリカのフランス語を話す人々、また他の国の人が居住しているため、人間性や性格などからそれぞれの国の色があるのを感じました。留学に来る前、日本人はとても優しく、思いやりがあり、他の国の人は少し違うというのをなんとなくイメージを持っていたが、実際には、特に自分が後から目の人を追うようにした時、わざわざ後ろの自分のために扉を開けてくれたり、混雑したバスの中で年配の方に席を譲ったりとすごく親切で、思いやりのある方々ばかりであった。留学したことで、ただのネットから得た情報や先入観を崩し、実際に体験し学んだことで新たな価値観や考え方を身につける事ができ、とても良かったと感じる。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回留学した事で、海外で生活することの楽しさだけでなく、苦労や大変さを学ぶ事ができた。そのおかげで、自分に自信をもつようになった。また、それと同時に 1 年間の留學生活では足りず、もっとしてみたいという気持ちにも駆られるようになった。まだ、これらかどうするかは明確には考えていないが、大学院に進学し、その際国内の大学院ではなく、海外の大学院に進学することを考えている。今回の経験から、海外で一人で過ごす時の注意点や、また交友関係、また海外の大学で学ぶことの難しさについてなど色々学ぶ事ができたのでそれらを活かしたい。また、モンリオールではフランス語を学び、フランス語で授業を行った。また、友達ともフランス語で会話したことで留學前より大きくフランス語力が上がっている。それを活かし、自分が研究したい第二言語としてフランス語の学習について、留學中の経験やケベック語というフランス語のフランス語と違う言語についても学ぶ事ができたので残りの大学生活で自分の専攻でまず活かしたい。

また、多くの友達を作る事ができ、英語やフランス語を自信を持って話せるようになってきたので、これからも積極的に会話し、交友関係を広げ色々な人の意見を聞いたり、自分の意見を話すことで成長していきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留學を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留學するうえで、まず留學先で何をやりたいのか先に決めることを勧めます。そのうえで自分のやりたいことなどができる国を決めていくのがいいと思います。自分の場合、フランス語だけでなく、英語も同時に学びたかったのでカナダでありながら、フランス語が公用語の都市なため基本的にフランス語ですが、ほとんどの人が英語、フランス語の 2 カ国語を話せます。そのため、授業の参考文献などは、英語、フランス語どちらもある場合が多いです。また、留學先では海外から見た日本というものを一番に学びたかったので、その学部、それに関連した授業があるモンリオール大学を選びました。そのおかげで、違った視点から日本について学ぶ事ができ、またすでに知っている知識があったため、授業がフランス語でも全く授業が理解できないということはありませんでした。さらに、交友関係についても周りにはアジアに興味があり、特に日本に興味がある人たちだからこそ、仲良くなるのが比較的簡単で、また友達は日本語、自分はフランス語を学んでいるからこそお互いで教えあったりできました。このように、前もってやりたい事を決めておくと、実際に留學先に行った後スムーズに大学の授業や交友関係を築けるとと思います。また、言語に関しても、初めは全く授業のフランス語がわからず、友達との会話もままならなかったが、留學後半には授業のフランス語が理解できるように、最後の数ヶ月は友達とフランス語で会話できるレベルまで上げる事ができました。諦めず、積極的に間違いを恐れる事なく、勉強し、話し続ければ言語は習得できると思います。